

PROGRAM

FINLAND FILM FESTIVAL in JAPAN

フィンランド映画祭 2019

上映タイムスケジュール

11.9 SAT	16:20 オープニング作品 ランド・オブ・ホープ(108分) ①ティーチ・イン	19:10 ヴォイド (97分)	
11.10 SUN	16:20 頑固じいさんとしあわせな時間 (115分)	18:30 ランド・オブ・ホープ(108分) ①ティーチ・イン	
11.11 MON		18:50 ネイチャー・シンフォニー (75分)	20:30 アウロラ (105分)
11.12 TUE		18:50 頑固じいさんとしあわせな時間 (115分)	21:05 ヴォイド (97分)
11.13 WED		18:50 アウロラ (105分)	21:00 ネイチャー・シンフォニー (75分)
11.14 THU		18:50 ヴォイド (97分)	20:50 頑固じいさんとしあわせな時間 (115分)
11.15 FRI		18:50 アウロラ (105分)	21:00 ランド・オブ・ホープ (108分)

*入場料金 1500円均一[税込] 全席指定・各回入替制

*全作品日本語字幕(「ネイチャー・シンフォニー」はナレーションおよび台詞がないため字幕はございません。)

*各作品の座席指定券は10月31日(木)00:00よりユーロスペース公式HP(www.eurospace.co.jp)、
同日開館時よりユーロスペース劇場窓口にて販売開始

■各種サービスの適用はありません。 ■劇場窓口は現金のみ、公式HPでは各種クレジットカードでのみ購入が可能です。

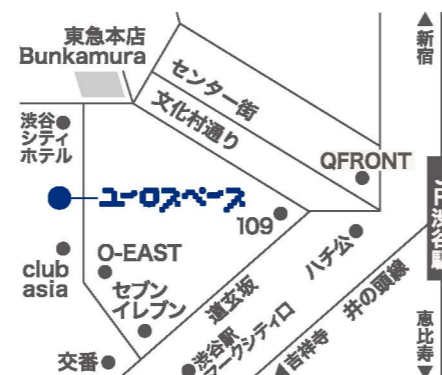
■公式HPでご購入のお客様はご鑑賞までに劇場ロビーにある発券機でチケットをお受け取りください。上映時間が近づく大変混雑しますので、お早目のお受け取りをお勧めします。 ■ティーチ・インは変更・中止となる場合がございます。

ユーロスペース

渋谷駅徒歩8分/渋谷Bunkamura前交差点左折
東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 3F
TEL:03-3461-0211

劇場への行き方

- 「渋谷駅ハチ公前」→「109」の右側の文化村通り→(約3分)→
「東急本店」向かって左側の道を進む→「Bunkamura前交差点
(松濤郵便局前)」を左折→60m先右側
- 「渋谷駅」→「マークシティ内通路」を通り抜け→「道玄坂上交番前」
信号を渡り→「セブンイレブン」の左側の道を下る→150m先左側



フィンランド映画祭 2019

FINLAND FILM FESTIVAL in JAPAN

2019年11月9日[土] - 15日[金]
ユーロスペース 東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 3F
料金 1,500円均一[税込] 全席指定・各回入替制

公式HP > <http://eiga.ne.jp/finland-film-festival/>
劇場HP > <http://www.eurospace.co.jp/>

主催 | フィンランド・フィルム・ファンデーション
特別後援 | 駐日フィンランド大使館、フィンランドセンター
協力 | 有限会社ユーロスペース、日本映像翻訳アカデミー株式会社

FINLAND FILM FESTIVAL in JAPAN

フィンランド映画祭
2019

人間ドラマ

ランド・オブ・ホープ

Oma maa / Land of Hope

*2019年フィンランド・アカデミー賞(Jussi賞)
最優秀主演女優賞
最優秀プロダクション・デザイン賞

108分/2018年/カラー/デジタル上映

監督: マルク・ポロネン
脚本: アンティ・ハイッキネン
マルク・ポロネン
主演: オーナ・アイロラ
コンスタ・ラークソ
アンティ・ヴィルマヴィルタ
製作国: フィンランド
言語: フィンランド語



ソ連との継続戦争後、
北カリリアを開拓した人々を讀えた
人間ドラマ

フィンランド映画界の名匠マルク・ポロネンのおよそ10年ぶりとなる新作。1945年の第二次世界大戦末期から1952年のヘルシンキオリンピックまでの7年間を通し、北カリリアの開拓者の勤勉さを讀えながら、若い夫婦の愛を描いた物語。平穏な生活を送ってきたアンニは、継続戦争で負傷したヴェイッコと出会い恋に落ちる。アンニはすべてを捨てて北カリリアの閉ざされた森に移住し、いわゆるコールドスペースと呼ばれる集落の開拓を始める。バラ色のスタートかと思われたが、運命はアンニの夢を打ち砕き、ヴェイッコの愛が試される。主人公のアンニを演じるのは第29回東京国際映画祭で上映された「オリ・マキの人生で最も幸せな日」(16)のヒロイン役を務めたオーナ・アイロラ。本作品で2019年フィンランド・アカデミー賞最優秀主演女優賞を獲得した。

① 11月9日(土)、10日(日)上映後、
マルク・ポロネン監督による
ティーチ・イン開催(予定)

ドキュメンタリー

ネイチャー・シンフォニー

Luontosinfonia / Nature Symphony

75分/2019年/カラー/デジタル上映

監督: マルコ・レール
脚本: マルコ・レール
主演: ヨハンナ・クルケラ
エルッキ・ラソソパロ
撮影: テーム・リアッカ
音楽: パヌ・アールティオ
製作国: フィンランド



水の国フィンランドの自然と動物、
そしてオーケストラが奏でる
生命賛歌ドキュメンタリー

フィンランド映画祭2016のオープニング作品「湖のものがたり」のスタッフによる最新作。本作では自然と音楽の調和がテーマ。ヴァンター交響楽団と40人の合唱団、そして歌手ヨハンナ・クルケラによって奏でられる作曲家パヌ・アールティオの音楽が、四季を通じて生きるフィンランドの生物たちの多様性へといざなう。さまざまな自然の音空間の中に、楽器、合唱団、歌手それぞれの場所を作り出すという、パヌ・アールティオにとって挑戦ともいえる方法で作曲された音楽は、通常の映画音楽よりも大きな役割で物語を語りだす。自然を積極的に擁護し、その状態が私たち全てにとって、いかに重要であるかを理解しているマルコ・レール監督の数十年にわたる自然との関係を結晶化させた作品。

恋愛ドラマ

ヴォイド

Tyhjöö / Void

*2019年フィンランド・アカデミー賞(Jussi賞)
最優秀作品賞 最優秀監督賞
最優秀音響デザイン賞 最優秀編集賞
*2019年モスクワ国際映画祭
最優秀男優賞 ロシア映画批評家賞

97分/2018年/白黒&カラー/デジタル上映

監督: アレクシ・サルメンペラ
脚本: アレクシ・サルメンペラ
主演: ラウラ・ビルン
トンミ・コルペラ
ハンヌ=ベッカ・ピョークマン
製作国: フィンランド
言語: フィンランド語、英語、
ロシア語、サーミ語



人生に行き詰まったカップルの、
ちょっとビターでシニカルな
大人のコメディ

2019年フィンランド・アカデミー賞作品賞を含む4部門受賞の栄冠に輝く話題作。監督はフィンランド映画祭2016にて上映された「巨山」のアレクシ・サルメンペラ。主演はフィンランド映画祭でも上映作品の多い「王となった少女」(15)「ターニングポイント」(18)などのラウラ・ビルンと「希望のかなた」(17)「ワンダーランド」(17)のトンミ・コルペラ。エーロは作家だがそのキャリアは下降スパイラルにあり、新しい小説を書くのにひどく苦悩している。ピヒラは国際的なブレイクを望む野心的な女優。彼らの夫婦関係は月日とともに次第に悪くなっていくが、どちらもキャリアを犠牲にするつもりはない。そんな二人のとった意外な行動とは…。本作は成功の価値と失敗の苦痛についての悲劇でありながら、何処か可笑しく、変に爽快な気分にもなるコメディ作品である。

コメディドラマ

頑固じいさんとしあわせな時間

Ilosia aikaaja, Mielensäpahoittaja /
Happier Times, Grump

*2019年フィンランド・アカデミー賞(Jussi賞)
最優秀助演女優賞

115分/2018年/カラー/デジタル上映

監督: ティーナ・リュミ
原作: トゥオマス・キュロ
脚本: トゥオマス・キュロ、ユハ・レヘトラ
ティーナ・リュミ
主演: ヘイッキ・キヌネン、サトゥ・トゥーリ・カルフ
スレヴィ・ベルトラ
製作国: フィンランド
言語: フィンランド語



終活中の祖父と孫娘が織り成す、
笑い涙のフィンランド流
幸せの見つけ方

2018年8月24日~26日付のフィンランド興行成績で第1位に輝いた、トゥオマス・キュロの同名小説を映画化したフィンランドの大ヒットコメディ・ドラマ。妻を亡くし生きる意味も失ったミエレンサバホイッタヤは死ぬつもりでいた。だが自作の棺も完成に近づいたその時、彼の人生に新たな転機が訪れる。17歳の孫娘のソフィアは、トラブルメーカーで頑固者だが知恵と暖炉のような暖かさを持つ祖父を必要としていた。古い田舎の年寄りと都会の若い女の子の共同生活によって、二人は次第に変化していく。そしてミエレンサバホイッタヤは再び生きる目的と、人生の意味を見つけてすのだった。本作が長編3作品目にあたる監督は女優としても活躍しているティーナ・リュミ。本作はフィンランド・アカデミー賞4部門にノミネートされ孫娘ソフィア役を演じたサトゥ・トゥーリ・カルフが最優秀助演女優賞に輝いた。

ロマンスコメディ

アウロラ

Aurora / Aurora

*2019年エディンバラ国際映画祭
最優秀インターナショナル長編作品賞

105分/2019年/カラー/デジタル上映

監督: ミーア・テルヴォ
脚本: ミーア・テルヴォ
主演: ミモサ・ヴィッラモ
アミール・エスカンダリ
オーナ・アイロラ
製作国: フィンランド
言語: フィンランド語、英語、ペルシャ語



フィンランド人女性と難民男性の
出会いを描いた
現代的なラブストーリー

ある夜、フィンランドのラップランドにあるホットドッグ・スタンドで、パーティー・ガールのオーロラがイラン人のダリアンと出会う。ダリアンは突然彼女に自分と結婚してくれるように頼みこむ。ダリアンは自分と娘の亡命のためにフィンランドの女性と結婚する必要があったのだ。だがオーロラは酒におぼれる荒んだ生活を捨てノルウェーに移ろうと計画しているため、彼の申し出を断った。しかし、彼の可愛い娘に会ったことから、オーロラは彼に結婚相手を見つけることを約束する…。エディンバラ国際映画祭2019においてインターナショナル長編作品賞を受賞するほか、数々の映画祭でノミネートされた話題作。オーロラ役を演じたミモサ・ヴィッラモはフィンランド映画祭2016にて上映された「ボドム」に出演している。